

経営比較分析表（令和6年度決算）

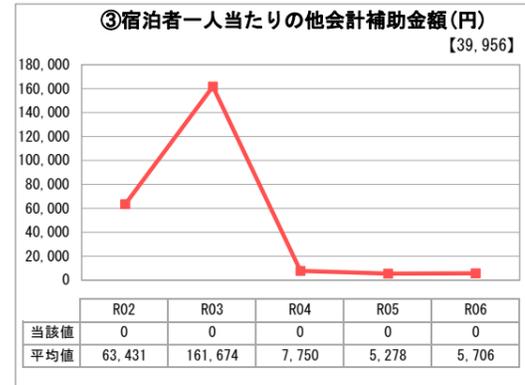
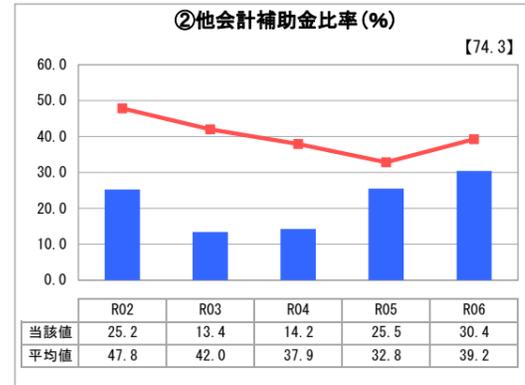
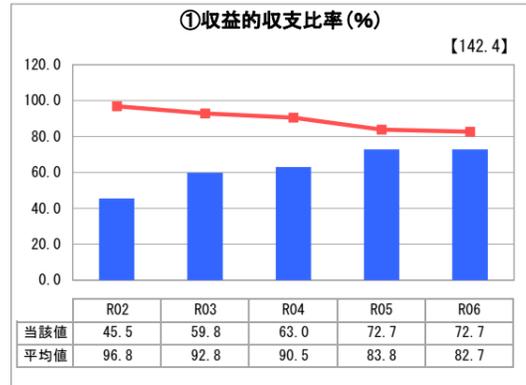
愛媛県西条市 本谷温泉館

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	1,503	20	

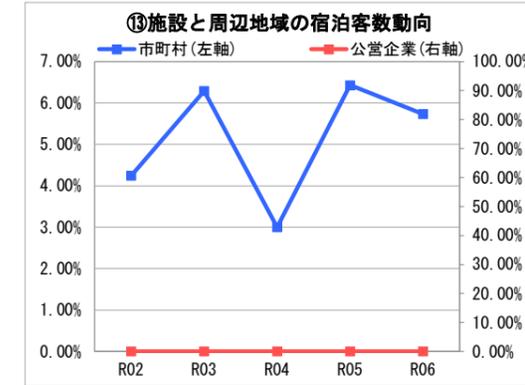
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
-	利用料金制	-
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 ⑥売上高GOP比率、⑦EBITDAの数値から、施設の収益性は昨年度よりも低下している。温泉使用料(収入)は昨年度と比べ増加したものの、配湯施設等の修繕費(支出)が、収入以上の増加であったためである。
 ⑤売上高人件費比率については、平均値を下回る数値で推移しており、人件費の抑制に努めている。
 ③、④、⑬については、宿泊事業を休止しているため、数値は0である。

2. 資産等の状況について
 平成28年度に大規模な改修を行い、⑫企業債残高対料金収入比率が平均値よりも高くなっている。

3. 利用の状況について
 ⑬施設と周辺地域の宿泊客数動向について、所在市町村の数値が、令和4年度以降増加傾向にあり、アフターコロナによるものと推察される。

全体総括
 施設の収益性は昨年度と同等の水準であった。安定的に施設を運営するため、利用料金収入の増加を軸とし、自主事業の更なる展開を行うなど、引き続き経営改善を進める必要がある。
 施設の維持・継続及び安定経営を行うため、一般会計からの繰り入れを行っていくこととするが、経費の適正化を進めること等により、繰入金金の抑制にも努める。
 今後も民間活力の活用を基本とし、現状の事業規模や採算性を踏まえて、令和8年4月より民間譲渡することになった。

④定員稼働率(%)

【17.7】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均値	5.1	6.4	9.4	10.0	9.0

⑤売上高人件費比率(%)

【43.6】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	38.6	40.4	33.5	36.0	34.0
平均値	100.4	58.5	42.5	44.7	59.7

⑥売上高GOP比率(%)

【△78.9】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	△110.0	△40.9	△31.4	△51.1	△73.7
平均値	△152.6	△61.8	△25.8	△15.7	△183.0

⑦EBITDA(千円)

【△15,622】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	△15,199	△21,415	△16,620	△32,751	△45,884
平均値	583,147	△15,708	△15,228	△13,757	△18,140

2. 資産等の状況

⑧有形固定資産減価償却率(%)

該当数値なし

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑨施設の資産価値(千円)

170,665

⑩設備投資見込額(千円)

8,000

⑪累積欠損金比率(%)

該当数値なし

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値					
平均値					

⑫企業債残高対料金収入比率(%)

【22.3】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	2,789.0	602.5	380.9	267.0	185.9
平均値	330.8	92.9	51.5	41.4	40.0